

## 京都ならではの文化力の発揮について

【担当省庁】文部科学省、文化庁

京都府では、国民文化祭の成功や「古典の日」の法制化等の成果を踏まえ、「京都府文化力による京都活性化推進条例」に基づく新しい基本指針「京都こころの文化・未来創造ビジョン」を策定し、文化力で「京都」を活性化するため、文化庁関西分室と連携しながら日本文化の素晴らしさを一層戦略的に発信することとしており、国において以下の検討をお願いしたい。

京都府・京都市共同提案

### 文化庁関西分室の機能強化と継続設置

- ◆ 「古典の日」の法制化を踏まえ、国民が古典に親しむことを促し、心のよりどころとして古典を広く根づかせるための全国的な取り組みや、関西・京都から国際的な文化発信を行う事業を文化庁関西分室が担う体制を整備し、機能を強化した上で、継続設置していただきたい。

京都府・京都市共同提案

### 「古典の日推進フォーラム」への国の主催参画など古典の日の普及啓発

- ◆ 11月1日（古典の日）に京都で開催する「古典の日推進フォーラム」に国が主催者として参画いただくとともに、「古典の日」関連事業を国において主体的に全国展開するなど、古典の日の普及啓発に取り組んでいただきたい。また、学校教育において、古典に親しみ、学ぶ機会を明確に位置づけるなど、法制化の趣旨を踏まえた国の取り組みを強かに推進していただきたい。

京都府・京都市共同提案

### 「京都国際現代芸術祭」の「国際フェスティバル支援事業」への採択

- ◆ 平成 27 年 3 月から 5 月にかけて、オール京都体制で開催する「京都国際現代芸術祭」は、豊かな文化遺産と自由な学術環境をもつ世界の「文化のみやこ」京都の力を結集し、魅力に満ちた芸術祭の実現を目指すものであり、我が国の中核的な国際芸術フェスティバルとして位置づけ、「国際芸術フェスティバル支援事業」による重点的な支援を行っていただきたい。

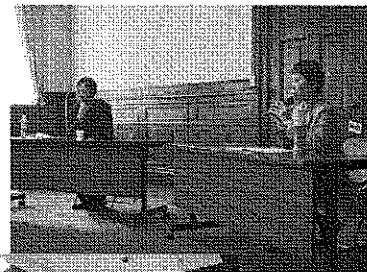
## 「地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業」の予算額の確保

- ◆ 京都府では、「地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業」を活用し、「古典の日」推進をはじめ、未来の文化の担い手育成、地域の創意・工夫を活かした事業などに取り組んできたところであり、先導的な文化振興事業の推進に大きく役立ってきた同事業の事業規模を一層拡充していただきたい。

### 京都府の現状・課題等

#### ◎ 文化庁関西元気文化圏推進・連携支援室(通称：関西分室)の移転・開所

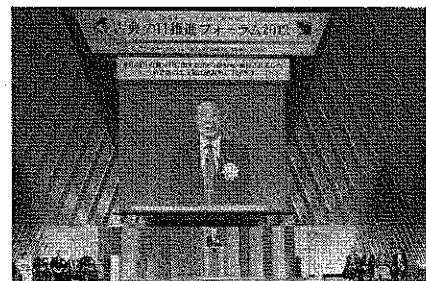
- 設置時期：平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月
- 設置場所：京都府庁旧本館 2 階
- 体制：室長、副室長（非常勤）
- 業務内容：
  - ・ 関西元気文化圏への参加登録等に関する相談対応、登録事業への出席
  - ・ 関係団体、自治体等との連絡調整
  - ・ マスコミとの連絡 等
- 平成 24 年度の主な取組
  - 関西元気文化圏推進フォーラム
    - ・ 日 時 平成 25 年 3 月 23 日（土）
    - ・ 会 場 京都府庁旧本館正庁
    - ・ テ ー マ 「文化芸術の再発見」



#### ◎ 古典の日推進事業の展開

< 「古典の日」の制定記念事業：古典の日推進委員会 >

- ・ 平成 25 年 11 月 1 日（金）  
古典の日京都フォーラム  
於：京都コンサートホール（左京区）
- ・ 平成 26 年 2 月 1 日（土）  
古典の日推進フォーラムin関西  
於：関西地域（調整中）



< 京都ゆかりの古典教材作成事業 > 平成 25 年度採択額 3,500 千円

子どもたちに朗読・暗唱してほしい京都ゆかりの古典文学を教材として作成し、小中学校の授業や朝読書等で活用

（地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業補助金申請）

◎ オール京都による国際芸術祭の開催

- 趣 旨 新たな芸術文化の発信と新たな都市の魅力創造を目指した日本を代表する国際的な芸術祭の開催
- 実施体制 京都府、京都市、経済界によるオール京都体制
- 開催時期 平成 27 年 2 月～5 月（予定）
- ◎プレ事業 平成 25 年度…京都文化博物館でのプレイベント「国際芸術祭への道 京都美術工芸新鋭展（仮称）」、普及・広報のためのレクチャーシリーズ開催等

<参考>

- 国際芸術フェスティバル支援事業
  - ・平成 25 年度文化庁予算額 0.7 億円
  - ・アート・トリエンナーレや国際映画祭といった、我が国で開催される中核的な国際芸術フェスティバルに対し戦略的かつ重点的に支援

◎ 京都府における「地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業」の活用

【日本画こころの京都百選巡回展事業】平成 25 年度採択額 675 千円

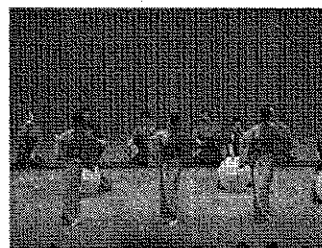
「こころの原点」である京都の風物、祭礼、人々の暮らしなどをテーマに、京都在住又は京都ゆかりの作家 100 名に日本画制作を委嘱  
京都府内 2 箇所の美術館等で展覧会を開催

【次世代文化継承・発展事業】平成 25 年度採択額 7,000 千円

京都の文化・芸術の振興と次世代への継承を図るため、児童・生徒へのほんまもの文化・芸術を体感する機会の提供として、学校や地域へ芸術家を派遣

【伝統文化の甲子園（全国高校生伝統文化フェスティバル）】平成 25 年度採択額 10,000 千円

郷土芸能や吟詠剣詩舞、日本音楽など伝統文化に勤しむ全国トップレベルの高校生と府内高校生が切磋琢磨する活動発表ステージを開催



【お茶といけばなの祭典】平成 25 年度採択額 4,000 千円

府民誰もが自由に参加できるお茶会や高校生などのアマチュアによるいけばなの展示や華道家によるデモンストレーション・体験教室などを実施

【ほんまもの京の文化の担い手を育む事業】平成 25 年度採択額 8,650 千円

○美術工芸新鋭展

新進作家の育成を図り、卓抜した創造性・技術を備えた作品を紹介して、京都の文化芸術を振興する展覧会を開催

○現代写真作家展

京都を中心に活動する写真家の作品を展示公開。次世代育成のため府内高校生作品展を併催

平成 25 年 6 月 京都府

○野外彫刻展

京都府立植物園において、京都を代表する彫刻家と次代を担う若手作家の作品展を開催

<参考>

○地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

- ・平成 25 年度文化庁予算額 29.4 億円
- ・地域の創意に基づく文化芸術創造活動への支援のため、各地域の特色や実状にあわせた総合的な支援を実施

【京都府の担当部局】

文化環境部	文化政策課	075-414-4217
	文化芸術振興課	075-414-4244